


教育実践高度化専攻

教育方法・生徒指導マネジメントコース



学校現場を、
マネジメントする。

 国立大学法人
兵庫教育大学

教職大学院 教育実践高度化専攻
教育方法・生徒指導マネジメントコース

お問い合わせ先

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
TEL 0795-44-2359 (大学院入学相談室受付)
Email: guidance-info@ml.hyogo-u.ac.jp
ホームページ hyogo-u.ac.jp/course/sch_sci/



ホームページ

3本の柱で学ぶ、 学校現場の マネジメント力。

本コースでは、学校現場において、目標実現のための道筋を立て、実行できるマネジメント力が養えます。教員が個人の力量を高めることを目標に自らスキルアップに向かう「教員としての自己マネジメント力」と、学校全体としてのミッション達成のために具体的目標を設定し、それを校内での研修や研究推進によって実現していく「校内組織マネジメント力」の2点から捉え、学生それぞれのニーズに応じた学びができるカリキュラムを提供します。

1 最適化された学び

「あなた」は、本コースの学びで何をしようとしていますか。学校内での問題に取り組んできた現職教員のあなたは、自らの力量を上げることで、学校現場に貢献したいという思いを抱いていることでしょう。教員を目指しているあなたは、教員としての自分を確立する

ために、より専門的に学び・成長したいと思いませんか。本コースでは、「あなた」に最適化された学びを提供します。〈教育方法・生徒指導マネジメント演習〉は、「あなた」の高めたいマネジメント力を身につけることができます。

校内組織マネジメント力

■ 教育方法・生徒指導マネジメント演習Ⅰ

教育方法・生徒指導に関する全般的な専門性の向上をめざし、教師の自己マネジメント力・学校組織マネジメント力を高めることをねらいとする。

回	テーマ
1	校内研修 メンタリング・コーチング
2	
3	
4	
5	研究法
6	カリキュラムマネジメント
7	教育とエビデンス
9	生徒指導 キャリア教育 インクルーシブ教育 学校における多様性
10	
11	
12	地域連携
14	道徳教育
15	

教員としての自己マネジメント力

■ 教育方法・生徒指導マネジメント演習Ⅱ

学部卒院生向け：自信をもって教育現場に臨める教師力、教員としての自己マネジメント力を高めることをねらいとする。

回	テーマ
1	オリエンテーション（自己マネジメント・学び方）
2	事例研究 ①生徒指導
3	事例研究 ②教育相談
4	人間関係 対人関係
5	
6	
7	教育方法
8	
9	
10	①協働的な学び 知識構成型ジグソー法
11	②授業研究
11	③総括的議論
12	道徳授業の実践
13	特別活動の実践
14	教師の自己マネジメント力（まとめ）
15	

学部卒院生向け（全15回）現職院生も受講可

各回の授業の
進め方

大学教員から提示された
文献・事例を読む

マネジメントの方法を
グループで討議

討議内容を
シェアする

大学教員のコメント、
アドバイスを得る

現場に応じた
イメージングを行う

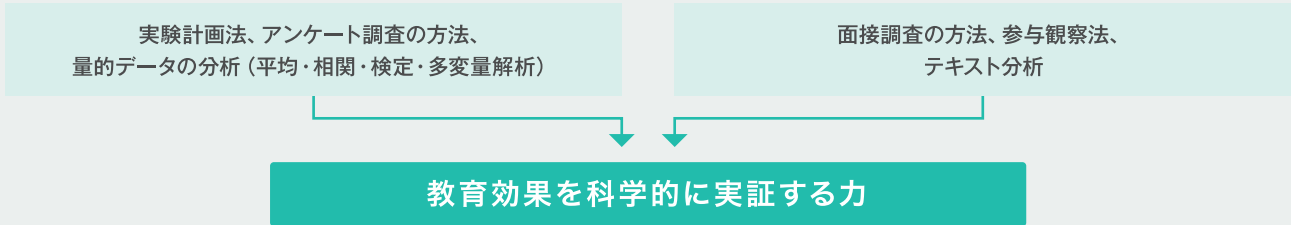
2 研究力、実践力を高める

これからの学校現場では、教育活動や実践の効果を科学的に検証できる研究力と、研究によって支えられた実践力が求め

られます。これら2つの力を養い〈実践研究〉として昇華させるための授業が複数用意されています。

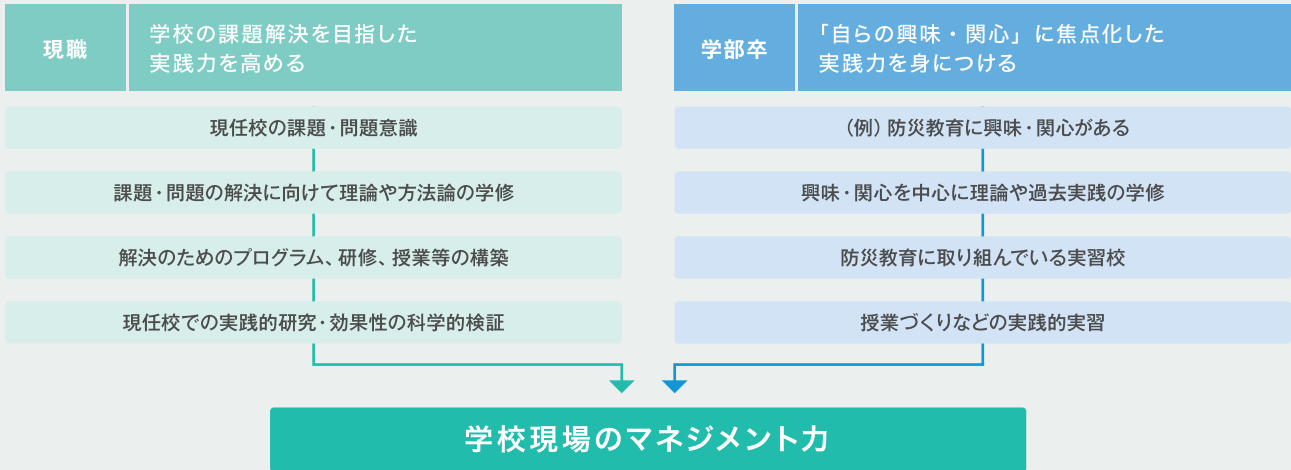
研究法の授業で研究力を高める

- ▶ 教育効果のエビデンスとなる客観性の高いデータを収集する方法を修得
- ▶ データを適切に分析し解釈できる力を養う



テーマを持った実習で実践力を高める

- ▶ 学生個々人の関心や問題意識に焦点化した実習
- ▶ 数多くの連携協力校から適切な実践校をマッチング



3 問題解決に至る専門性を修得

教育実践に関わる多彩な専門科目から、自らの問題意識に応じて選択。さらに実践の専門性をアカデミックな学問とリンクさせて学修できる。

教育方法

- ▶ 各教科・領域に捉われない基盤的かつ共通な授業実践の方法やカリキュラム・マネジメントのあり方など

生徒指導

- ▶ 初等・中等教育において、教科指導以外の学校生活や子どもの成長に関わる学校教育活動の全てを対象

道徳・探究

- ▶ 道徳、特別活動、総合的な学習(探究)の時間など、教育方法や生徒指導を教育課程として実践するフィールド

専門性を支えるアカデミズム

- ▶ 心理学、教育方法学、教師教育学、社会教育学、道徳教育など



教育方法・生徒指導マネジメントコース 履修モデル

■ 昼間クラスの中学校教員Aさんの場合(1年次実習免除をした場合)

■ 本コースを選んだ理由

生徒が前向きに学校生活や学習にのぞみ、将来に向けて自立するために、教員として何が出来るかを考えた時に、キーになるのが「キャリア教育」でした。どのようなキャリア教育が生徒のためになるのか、また、キャリア教育を充実させるためにどのような教員研修を実施していく必要があるのかを研究したいと考え、本コースを選びました。

■ コースでの学び

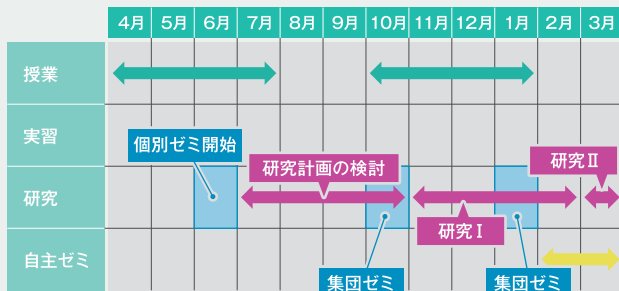
1週間のうち1日は、授業を入れずに、現任校や学外の研修会に行きました。また、授業外では、院生同士の自主ゼミが定期的に開催されていました。直接お互いの研究について相談することで、自分の理解が深まり、他者からの指摘で考えの違いや筋道立っていない部分を認識できるという利点があり、積極的に参加しました。

■ 研究の進め方

1年次の夏休み前には研究に関する取り組みが始まります。実習の免除申請をしていたので、実習が無い分、よく現任校に戻り、研究の打ち合わせを行いました。

また年に2回、集団ゼミがあり、コースの先生や他の院生に研究の進捗を発表する検討会があります。異なる分野のアプローチからの指摘もあり、大きな学びがあります。

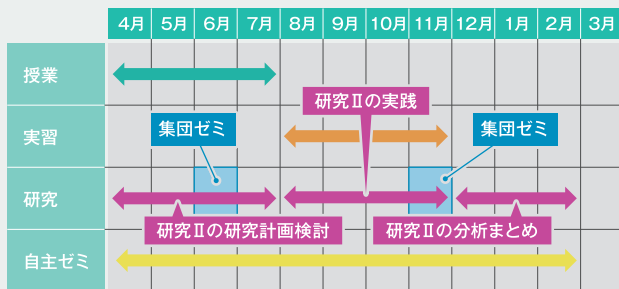
■ 1年次 年間スケジュール



■ 1年次前期 時間割

	月	火	水	木	金
1	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際			学校における道徳教育の実践研究	児童生徒を活かす学級経営の実践演習
2		学習指導と授業デザイン		包括的児童生徒支援に関する事例研究	教育実践の省察と分析(後半)
3		教育課程における各教科の特性と課題		授業におけるICT活用	個別ゼミ
4	教育方法・生徒指導マネジメント演習I			教師発達とメンタリング	

■ 2年次 年間スケジュール



■ 1年次後期 時間割

	月	火	水	木	金
1	学校における特別支援教育への対応と方法	授業における評価の基準作成理論と学力評価法			
2				学校におけるデータの取り方と分析(前半) / 学校における質的研究のデザインと方法(後半)	
3	学校カリキュラムのデザインと評価	生徒指導とキャリア教育		社会心理学に基づく学級経営の実践開発(前半) / 円滑な学級経営のための力形成(後半)	個別ゼミ
4	教育相談の理論と技能開発	集団ゼミ		授業研究の理論と実践	

■ フレックスクラスの高校教員Bさんの場合

■ 本コースを選んだ理由

遠方に住んでいるため、オンラインで大学院の課程を履修できることから入学を決意しました。昼間は教員、夜は研究という2つの軸をもち、教員としての経験を振り返りつつ、理論と現場実践を結びつけることができるのが大きな魅力です。

■ 1年次前期 時間割

【オンデマンド型(ビデオ教材のみで履修)】

- ・児童生徒を活かす学級経営の実践演習
- ・特色あるカリキュラムづくりの理論と実際

【オンライン同期型(当該時間にオンライン接続して履修)】

	月	火	水	木	金
6			道徳教育及び道徳授業の理論と実際		教員のための学校組織マネジメントの実践演習
7	教育方法・生徒指導マネジメント演習I			包括的児童生徒支援に関する事例研究	個別ゼミ

■ 1年次後期 時間割

【オンデマンド型(ビデオ教材のみで履修)】

- ・授業におけるICT活用
- ・社会心理学に基づく学級経営の実践開発

【オンライン同期型(当該時間にオンライン接続して履修)】

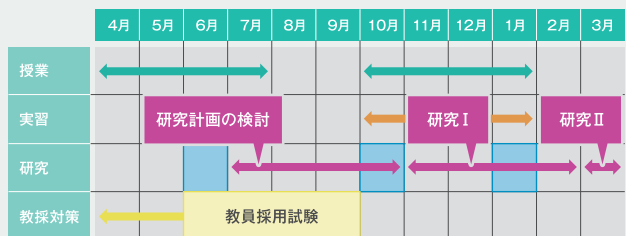
	月	火	水	木	金
6				学校における道徳教育の実践研究	
7	教育実践の省察と分析				個別ゼミ

■ 学部卒Cさんの場合

■ 本コースを選んだ理由

昨今の複雑化する「いじめ」について研究したいと思い、いじめ防止にとって重要な生徒指導や教育相談、学級経営について学べる本コースを選びました。

■ 1年次 年間スケジュール



■ 2年次 年間スケジュール

